

平成22年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市知的障害者授産施設 共栄作業所
所在地	四日市市西日野町4070番地1
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会</p> <p>代表者 会長 長谷川 正統</p> <p>住所 四日市市諏訪町2番2号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次業の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>福祉部障害福祉課</p> <p>TEL：059-354-8171</p> <p>E-mail：syougai-fukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

共栄作業所の管理運営状況については、知的障害者授産施設として、通所する知的障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進するという施設の設置目的を達成し、社会福祉協議会として利用者への安心、信頼の維持と経費の削減も果たしています。施設の維持管理については、閉所時にセキュリティシステムを導入するなど前向きな姿勢が見られます。ただ貸与備品の管理に関しては、他の指定管理施設に比べてチェック体制がやや甘い印象を受けましたが、総合的に判断して良好と評価します。

管理運営については、利用率が81%で平成20年度、平成21年度、平成22年度と上昇しており、定期的、継続的な通所を働きかけるなど、支援計画に基づいた支援が実施され、全体として適切に運営されました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

独自の取り組みとして、特に生活習慣病などの回復に向けた支援を行い、自立に向けての支援が実施されました。

また障害者自立支援法の新体系への移行も利用者の現状やその保護者のニーズの把握に務め、市と十分協議を行い、平成23年4月からスムーズに実施することができました。

経費については、おおむね計画的に執行され、安定した財務状況にありました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

- ・当施設は定員の空きがあるため、特別支援学校の卒業生を中心に20歳未満の新しい利用者が毎年入っています。施設の本来目的である、知的障害者に自活に必要な訓練や職業を提供することで、自立と社会参加を促進するため、利用者にとっての次なるステップが見出せるよう利用者や保護者と十分協議するなかで、充実した施設運営がなされること。
- ・景気の低迷から授産活動に支障の出ることのないよう、市社会福祉協議会に配置されている授産製品販売拡大支援員と十分連携を図り、授産工賃の確保に努めること。
- ・事業の安定した継続と信頼の維持のため、職員の専門性をさらに高め、技術の向上を一層考慮されること。また、職員間の情報共有を図り、危機管理意識を持つこと。
- ・ハード面では、障害のある方々が安心・安全に利用できるよう引き続き維持管理に努められること。特に備品管理の徹底をお願いしたい。
- ・個人情報の取扱については、資料及びデータ管理の徹底、パソコン及び周辺機器のセキュリティ対策を引き続き行うこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

授産活動を通して集団の中で働くことの意義を見出すとともに社会との繋がりを肌で感じ、併せて授産工賃を得ることで働く喜びを知り、適切な支援のもと豊かな生活経験の場を広め自立の道を図るといふ、施設の目的に沿った支援方針に基づき実施され、概ね適切に管理運営が行われていました。

施設運営や利用者への対応については、利用者やその保護者から高い信頼を得た中で、公正に運用されていました。

また、指定管理者としての特性を生かし、法人が実施している相談事業やボランティアセンターなど各種サービスや、民生委員・地区社協・学校等の関係団体と有機的な連携を図り、福祉体験等の機会を提供するなど、知的障害者授産施設として一定の成果がありました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

制度改正への対応が求められた中で、社会福祉協議会として信頼を維持し、適正かつ柔軟な管理運営が実施されていました。特に、施設を利用している障害者の保護者の方々ときめ細かく連絡を取り、利用者一人ひとりに合わせた支援が行われていました。

給食においては、利用者のリクエストメニューを実施したり、利用者の健康状態に応じてカロリーや塩分の計算をするなどきめ細やかに配慮されていました。

また、市民文化祭や人権フェスタ・四郷地区文化祭の場などで、「さをり織り」の体験と実演を行い、障害者理解の啓発に努めていました。授産事業については、企業との連携で「まぼろしの菜種油」の受託作業にも力を入れ、工賃アップへと努力されていました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、当施設の目的を果たすため適切に運営されていました。施設の維持管理についても、法人管理部門でも確認しながら、毎月担当課と連絡調整会議を開催し、課題を共有しました。

また、施設サービス運営委員会を定期的に開催し、意見交換会を行うなどサービスの質の向上に努める姿勢が見られました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

受託金収入や、事業費や人件費など、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。また、毎日の利用者の日課や年間行事、施設の保守点検等に関する書類もよく整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

情報管理については、パソコンとデータバックアップ用にそれぞれパスワードを設置し、鍵付保管庫に保管するなどの対策が徹底されていました。日常から施設内を点検し、修繕箇所の早期発見と対応が適切に行われ、また防災に関しては、西日野福祉ゾーン合同防災会議を定期的で開催して緊急時の協体制の構築につとめ、施設内では毎月1回、緊急地震速報端末を利用し、火災・地震それぞれの避難訓練を行いました。また毎月1回、自主防災設備点検も定期的実施されていました。各作業室には、利用者の数だけ防災頭巾が備えられ、災害時の非常用食料・防災用品も備蓄され、常に使用できるよう整備されていました。

防犯対策として、玄関には赤外線来客報知センサーを設置して不審者侵入の防止に努め、事務机及び全書庫の施錠を徹底すると共に、夜間・休日の警備は警備会社に管理を業務委託されていました。近隣に事務所荒らしがあったこともあり、監視カメラも備え付け、不審者の侵入防止につとめました。感染症対策については、来所者用手指消毒用アルコールの設置・インフルエンザ予防接種の実施やマスク等の購入など、適切な対策が講じられていました。

社会性（環境等への配慮）

リサイクル解体作業を授産作業に取り入れ、日常的に環境問題が意識されていました。

また、廃棄物の処分などについては、処分してもらう業者に manifests を提出させるなど法令遵守の徹底がなされており、汚水処理についても適切に整備点検が行われていました。

事業収支

経済性

事業収支においては、施設の経営努力と法人の人事異動による支援等で適正な範囲内で管理され、安定した財務状況にありました。

団体の経営状態

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書などを分析した結果、大きな問題は無く、社会福祉協議会の公共性からの財政基盤も含め、安定していると判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成22年度

施設名	四日市市共栄作業所		所管課: 障害福祉課
所在地	四日市市西日野町4070番地1		設置年月: 昭和52年5月
設置目的	知的障害者授産施設として、通所する知的障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	知的障害者福祉法、四日市市知的障害者授産施設条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	1200.00
		延床面積 (㎡)	603.15
		作業室、事務室、相談室、医務室、和室、会議室、食堂、厨房、洗濯室等	
事業概要		<p>知的障害者授産事業 (定員37名)</p> <p>(1) 授産活動 【受注作業】 贈答品箱詰め、製品飾り付け、リサイクル解体作業、点字刻印作業、アイトム農耕作業、割箸袋詰、紙製品加工作業 【自主製品作業】 縫製、ぞうり編み、さをり織り作業、組紐作業、ビーズ作業</p> <p>(2) 生活経験、自立促進活動 ①利用者自治会による一人一役活動 (朝礼係、花壇係等) ②サークル活動 (おやつ作り、ダンス、美術等) ③一日外出 ④社会実習 ⑤一泊社会体験 ⑥工場見学 ⑦職場実習 ⑧地域交流 ⑨ボランティア交流会 ⑩市内小学生の福祉作業体験 ⑪福祉講演会 ⑫クリスマス会</p> <p>(3) 保健衛生・健康管理 ①医療相談 ②健康診断 ③身体測定</p> <p>(4) 保護者・地域との連携 個別懇談・年度末懇談、「きょうえいつうしん」の発行、グループホーム、保護者会で制度説明</p>	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	243日	243日	計画通り
開館時間	8:30~17:00	8:30~17:00	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	8,991人	7,271人	△1,720人
平均利用率	平均	80.87%	—

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	61,300,000	61,300,000	0
利用者給食代	2,111,000	2,114,700	3,700
職員等給食代	800,000	701,600	△ 98,400
処遇改善一時金	416,000	618,231	202,231
雑収入	31,000	24,235	△ 6,765
収入計	64,658,000	64,758,766	100,766
人件費	50,086,000	50,258,173	172,173
管理費	10,567,000	9,832,608	△ 734,392
消耗品費	530,000	608,284	78,284
燃料費	180,000	166,937	△ 13,063
印刷製本費	70,000	95,025	25,025
光熱水費	2,413,000	2,050,929	△ 362,071
修繕料	1,364,000	1,371,826	7,826
通信運搬費	338,000	266,835	△ 71,165
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	284,000	244,220	△ 39,780
委託料	1,003,000	650,230	△ 352,770
賃借料	620,000	637,080	17,080
その他	3,765,000	3,741,242	△ 23,758
事業費(ソフト事業等)	1,282,000	1,142,110	△ 139,890
一般管理費	2,723,000	1,970,128	△ 752,872
支出計	64,658,000	63,203,019	△ 1,454,981
収支	0	1,555,747	1,555,747

平成22年度 共栄作業所 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	243日	243日	計画通り	計画通り開館された。	適
開館時間	8:30~17:00	8:30~17:00	計画通り	計画通り開館された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	8,991人	7,271人	△1,720人	利用定員37名のところ、当初4名の欠員であったが、4月に1人退所し、5人の欠員となった。また、利用者について体調不良などで登所できなかったことなどから利用者数の減少につながった。	適
稼働率	—	80.87%	—		適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	61,300,000	61,300,000	0	大学生の教育実習や福祉実習の受け入れがなく職員等給食代収入が減少した。	適
利用者給食代	2,111,000	2,114,700	3,700		
自主財源	0	0	0		
職員等給食代	800,000	701,600	△ 98,400		
県社協補助金	0	0	0		
処遇改善一時金	416,000	618,231	202,231		
雑収入	31,000	24,235	△ 6,765		
収入計	64,658,000	64,758,766	100,766	[勤務体制：常勤8人、非常勤4人 詳細は仕様書による] 職員俸給、非常勤給与は減少したが、授産事業の充実目的等で積極的に研修に参加し旅費交通費、研修費等が増加したので人件費については予算より増加した。またその他の支出については利用者が食後の野外・室内活動が困難な場合、休憩時に見る食堂の壁掛けテレビの購入や衛生管理のため本館手洗い場にハンドドライヤーを設置したことで予算より増加した。 一方、光熱水費、通信運搬費については節約を徹底し、予算より支出を抑えた。委託料も業務委託について仕様書を作り、見積もり合わせを行い、低価格での委託を徹底し予算より支出を抑えた。新体系移行により施設名が変わったことにより、封筒の印刷や看板設置など例年になく出費もあったが、職員の経費節減の意識も徹底し、総合的には利用者への安全とサービス向上を重視した経費の支出で良好な運営であったと判断する。	適
人件費	50,086,000	50,258,173	172,173		
管理費	10,567,000	9,832,608	△ 734,392		
消耗品費	530,000	608,284	78,284		
燃料費	180,000	166,937	△ 13,063		
印刷製本費	70,000	95,025	25,025		
光熱水費	2,413,000	2,050,929	△ 362,071		
修繕料	1,364,000	1,371,826	7,826		
通信運搬費	338,000	266,835	△ 71,165		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	284,000	244,220	△ 39,780		
委託料	1,003,000	650,230	△ 352,770		
賃借料	620,000	637,080	17,080		
その他	3,765,000	3,741,242	△ 23,758		
事業費(ソフト事業等)	1,282,000	1,142,110	△ 139,890		
一般管理費	2,723,000	1,970,128	△ 752,872		
支出計	64,658,000	63,203,019	△ 1,454,981		
収支	0	1,555,747	1,555,747		

総合コメント

運営については、支援内容や授産事業の工夫により、利用者及び保護者との信頼関係が維持されており、また地域との交流により活動内容等を明快にするなど、運営努力され、良好であると判断した。

経費については、総合して健全な運営をしていると判断した。自立支援法に基づく事業所に移行後も利用者数の減少は経営全般に影響するので、新たな利用者の確保について、公的な役割を踏まえた上で、関係機関と検討することが必要である。

平成22年度 共栄作業所 運営状況 チェックシート①-2

項目	事業分析	適否判断
利用実績	<p>開館日数：243日 延べ利用者7,271人(81%) 平成23年3月31日現在入所者数32人(定員37人) ※欠員補充については、市内全施設の動向を注視しながら判断しているところがあるため、安易に人員増加は図れない。利用者の出席率は平成20年度、平成21年度、平成22年度と上昇しており、利用実績は適切であったと判断している。</p>	適
事業 収支	<p>平成22年度は大学生の教育実習や福祉実習の減少に伴い、計画と比較すると、職員等給食代収入が減少した。</p>	適
	<p>職員俸給、非常勤給与は減少したが、授産事業の充実目的等で積極的に研修に参加し旅費交通費、研修費等が増加したので人件費については予算より増加した。またその他の支出については利用者が食後の野外・室内活動が困難な場合、休憩時に見る食堂の壁掛けテレビの購入や衛生管理のため本館手洗い場にハンドドライヤーを設置したことで予算より増加した。 一方、光熱水費、通信、運搬費については節約を徹底し、予算より支出を抑えた。委託料も業務委託について仕様書を作り、見積もり合わせを行い、低価格での委託を徹底し予算より支出を抑えた。新体系移行により施設名が変わったことにより、封筒の印刷や看板設置など例年にない出費もあったが、職員の経費節減の意識も徹底し、総合的には利用者への安全とサービス向上を重視した経費の支出で良好な運営であったと判断する。</p>	適

平成22年度 共栄作業所 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面・実地確認	適切に報告等されている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	地方自治法など各種法令・規程に関する書類は提出されていた	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、5/9報告 月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、5/9報告、 毎月月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1予算、5/9決算、 毎月書面確認	仕様書通り行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月会議・書類管理 指定管理者面接	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備 保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	毎月書面・随時実地確認	仕様書通り行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	報告・書面・月次報告	仕様書通り行われている	適
事故等の報告書が提出されたか		随時報告・書面確認	仕様書通り行われている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
	点検・保守	法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備、保管されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	清潔に清掃されていた	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	月次・実地確認	適切に管理されている	適
防災	マニュアルは作成されているか	随時・実地確認	作成されている	適	
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	月例会議・実地確認	パンフレット類は整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	毎月確認	ホームページの更新はされている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	該当なし		
	システム管理	更新・変更は常になされているか	該当なし		
		トラブルに対応したか	該当なし		

総合コメント

法令等の遵守及び募集要項等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行されていた。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、各種マニュアルの作成、施設修繕、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていた。
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び毎月の施設長会議等で行なった。

平成22年度 共栄作業所 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
さをり織り作業	毎日の作業日課	利用者が縦糸と横糸を使い一枚の布を織り、ボランティアや職員がベストやマフラーに仕立てる作業を行う。展示会で実演や即売会も行う。	芸術品を彷彿させる作品の製作と展示販売で利用者の就労意欲や社会参加が促進された。また自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
点字刻印作業	毎日の作業日課	市の封筒にヨッカイチシヤクショと点字を刻印する作業	市の封筒に点字を刻印することで利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適
アイトム農耕作業	毎日の作業日課	収穫作業とまぼろしの菜種油のラベル貼り作業	農作業や完成品のラベル貼りにより、利用者の就労意欲や社会参加が促進され、自主製品のPRが社会啓発にもつながった。	適

総合コメント

施設活動支援として各種授産製品の製作、PR、販売を積極的に取り入れたことで利用者の就労意欲や社会参加が促進された。また障害者の自立支援、社会参加に関する社会啓発にもつながった。今後も利用者等のニーズを取り入れ、積極的に取り組んでいくことを期待する。

平成22年度 共栄作業所 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時 指定管理者と面接	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	月次報告及び実地確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切であった	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、定期的に確認し、軽易な修繕については毎月の業務報告書及び連絡協議会で報告し、重大な異常を発見した場合直ちに、報告・協議を受け、必要な修繕等実施した。上記業務の実施については適正であると判断する。
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び毎月の施設長会議等で行なった。

平成22年度 共栄作業所 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		許可証は速やかに発行されたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		ホームページは見易いか	毎月 HP 確認	見易いものであった	適
	受付・応対業務	担当者の接客態度は良かったか	実地随時確認	良好であった	適
		利用者に対する指導は適切であったか	実地随時確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地随時確認	着用していた	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	実地随時確認	仕様書通り行われている	適	
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗用石鹸は常に補給されているか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	実地随時確認	清潔に清掃されていた	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地随時確認	障害物は見られなかった	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		草刈りや除草はされているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地随時確認	快適に利用できる環境となっていた	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地随時確認	適切に分別が行われていた	適
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適	

総合コメント

施設を利用している障害者の保護者の方々ときめ細かく連絡を取り、利用者一人ひとりに合わせた支援を行うとともに、利用者の健康や家庭の問題にも積極的に関与し、問題解決に取り組む姿勢が見られた。
 また、施設サービスに関するアンケートを実施し、その結果について運営委員会を開催するなど、施設運営について利用者の意見を取り入れる努力が見られ、社会福祉協議会として、障害者やその保護者から高い信頼を得た中で、公正に運用されていた。
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び毎月の施設長会議等で行なった。